



スピリット 常魂



時を守り
場を清め
礼を正す

時を守り
場を清め
礼を正す

「時を守る」ことの具体例としては、「授業前の三分前着席の励行」を挙げることができます。本校のほとんどの生徒が、三分前着席ができます。

「場を清める」ことの具体例としては、「授業中机上に筆入れを出さない」ことに取り組んでいます。

「礼を正す」ことの具体例としては、

平成28年 4月 24日 NO. 9
〒311-1114 水戸市塩崎町1016
TEL029-269-2116
FAX029-269-3160
Mail tunezumi-j@magokoro.ed.jp

【ホームページで、カラー版が見られます】

常魂——基本的生活習慣慣 人生を幸せに生き抜く力

常中魂の基本は、

「時を守り」

「場を清め」

「礼を正す」

ことにあります。

「時を守る」ことの具体例としては、

「授業前の三分前着席の励行」を挙げることができます。本校のほとんどの生徒が、三分前着席ができます。

「場を清める」ことの具体例としては、

「授業中机上に筆入れを出さない」ことに取り組んでいます。

「礼を正す」ことの具体例としては、



2016/4/22 9:14am

ささらに、「場を清める」ことの象徴として、「授業中机上に筆入れを出さない」ことに取り組んでいます。

「礼を正す」ことの具体例としては、



2016/4/22 9:14pm

ささらに、「場を清める」ことの象徴として、「授業中机上に筆入れを出さない」ことに取り組んでいます。

「礼を正す」ことの具体例としては、

何より「挨拶」です。

常澄中学校方式の深い礼。

朝の校門での挨拶、昇降口での挨拶、教室へ入る際の挨拶等にも力を入れています。

挨拶という漢字は「挨」も「拶」も

「たたく」という意味をもつっています。

「自分の挨拶で、人の心を優しくノック」することを心がけます。

「挨拶」がきちんとできる人は、社会に出で、人々から、かわいがられると言います。その結果、人生での失敗が少なくなるとも言われます。「挨拶」こそ、生きる力の「基本中の基本」であり、「基本的生活習慣の要中の要」だとお伝えています。

下の写真をご覧ください。この写真もまた「礼を正す」の一例です。

この写真は、二十二日に行われた大貴克則先生の数学の時間の様子です。三年生たちが、四問の問題を自力で解いていました。教室からしゃべり声が消え、静かになっていました。

ある生徒が無言で挙手をしました。

(右下の写真) この写真もまた、「礼を正す」という常中魂を行動で示しています。

友達が、自力で解いているときに、「わからんない」と大声で先生を呼ぶのは、礼に反します。自分の都合だけ考えて周りを考えない行動は慎まなければなりません。

静寂が心の安定を生み、集中力をアッブさせます。

写真的の生徒は、無言で挙手し、先生が自分の所に来るまで待つことができました。

ある程度時間が経ち、クラスのほとんどの生徒が解き終わると、今度は、小声で近くの生徒が、互いに教え合つ

遣いこそ、常中魂の表れです。

授業の中でも、授業の中でもこそ常中魂(基本的生活習慣)は培われます。

理想の先輩とは!?

2年生たちが大沼先生の指導で『先輩になると言うこと』という学習をしていました。

本校では、道徳の学習など話合い活動の時の基本座席配置を、写真のようなコの字型としている。この座席配置により、発表者は、聴き手を意識し、聴き手の顔を見渡しながら発表し易くなる。また、聴き手の方も、発表者の方を見ながら聴くことを意識しやすくなる。

さて、2年生たちにとって「理想の先輩」とは、どのような先輩のことだろうか。「注意してくれる」「挨拶をしてくれる」「気軽に声をかけてくれる」「適切なアドバイスをしてくれる」「人によって態度を変えない」ととらえ、「このような先輩になりたい」という感想が聞かれた。



2016/4/22 9:26am

〔本報社編集部〕 二二一九八二年

